

要請文

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

皆様もご存じのように、「特別天然記念物で環境省の絶滅危惧種」に指定されているコウノトリをシンボルとした、自然と人とが共生する地域づくりを目指す野田市が、平成二十四年から江川地区でコウノトリを飼育しています。現在は、三回目のヒナが順調に成長して合計九羽になりました。そして、今年生まれたヒナ三羽を七月下旬頃には試験放鳥する予定です。

そうなれば、野田市の江川地区だけでなく千葉県全体いや関東一円に、コウノトリが生息出来る環境が必要になってきます。そのため「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」が千葉・埼玉・栃木・茨城の四県にわたる三〇市町村で構成されています。

このコウノトリが利根運河く江戸川流域や海老川流域にも舞い降りる姿を是非みたいものです！ 私たちのそれぞれの地域で、自然と共生する地域作りのシンボルはなにか？

「コウノトリ放鳥から考える江戸川流域 く三番瀬」「自然と人との共生」を広く実現していくために、干潟と湿地のより豊かな生物多様性のために、私たちがこれからどんなことをすればよいのか？を共に検討していただく場として、

「千葉全域をコウノトリが舞う場所にしよう！」七・一一集いを企画いたしましたので、ご賛同・ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

名称

三番瀬のより豊かな自然の保全と再生のために

「千葉全域をコウノトリが舞う場所しよう！」の集い

日時 平成二十七年七月一日(土) 一八:〇〇開場 一八:三〇開演く二一:〇〇

場所 きららホール(船橋市民文化創造館) フェイス六F

内容 第一部 「コウノトリで自然再生を！」 講師 野田市長 根本崇氏

第二部 「三番瀬など現場からの報告」

主催 「三番瀬干潟・湿地の生物多様性をより豊かに保全しよう」

七・一一集い実行委員会 実行委員長 相澤 友夫

後援 千葉県、船橋市、市川市、習志野市、浦安市、船橋市教育委員会、船橋市観光

協会(以上申請中)

WWF・ジャパン、日本自然保護協会、日本湿地ネットワーク、ラムサール・

ネットワーク日本、

お問合せ先 七・一一集い実行委員会事務局(岸本)

TEL090-1117-1246

パソコンEメール:a1047w6@icnet.ne.jp

平成二十七年六月吉日

「三番瀬干潟・湿地の生物多様性をより豊かに保全しよう」

七・一一集い実行委員会

実行委員長 相澤 友夫